

# 第197回 外国人学生が語る「ふるさとの街と福岡」 ～ネパール・ブッダブミ市～

## 3/19 (水)

### 18:30～19:30

※18:00 受付開始

会 場 福岡市国際会館 4 階  
(福岡市博多区店屋町 4-1)

参加費 一般 500円  
外国人学生 無料 (学生証等ご提示ください)  
定 員 33名 (要事前予約)



(左) 出典: photo AC カトマンズ寺院 (中央) 出典: photo AC エベレスト (中央右) 出典: photo AC カトマンズ風景 (右) 出典: 外務省 HP ネパール地図

ネパールは、南アジア、ヒマラヤ山脈の南側に位置し、面積約 14 万 7000 km<sup>2</sup>、人口約 3,060 万人で、首都はカトマンズ、言語はネパール語、宗教はヒンドゥー教、仏教、イスラム教などです。主要産業は、農林業、貿易・卸売り業などで、日本とは 1956 年に外交関係が樹立し、政治、経済、また技術交流等もあり、日本との関係は伝統的に良好です。

ブッダブミ市は、人口約 8 万人の農業が盛んな平野地域で、歴史的・宗教的に重要な場所です。タライ地方特有の豊かな自然と温暖な気候も魅力の一つで、隣には、仏陀が生誕し育った場所であり、平和の象徴として多くの巡礼者や観光客が訪れる神聖な地ルンビニがあります。ルンビニには、マヤデヴィ寺院や各国の僧院が立ち並び、深い信仰と歴史を感じられる場所となっています。

#### 語り手 シャルマ ゴパル さん



ネパールのタライ地方ブッダブミ市出身で、日本の先進技術や質の高い教育システム、特に科学技術や建築分野に興味があり、日本の発展した環境で学びたいと思い 2014 年に福岡に来ました。都市の規模がちょうど良く、生活費が比較的リーズナブルで日本語学校や大学が充実し、地元の人々が親しみやすいという評判を聞き、福岡に来ました。福岡は日本の伝統的な文化と国際的な雰囲気が共存しており、都市の利便性と自然の豊かさを兼ね備え、学生にとって理想的な環境だと感じました。食文化や屋台の雰囲気などにも惹かれました。歴史や文化に関する本を読んだり、新しい場所を訪れ、その地域の人々や食べ物、風景を楽しむことが好きです。現在、九州大学 総合理工学府・総合理工学専攻・機械システムメジャーの博士後期課程に在籍し、主にゲーム理論や流体工学系の研究を行っています。今年 3 月に博士号を取得し、卒業予定です。4 月からは三菱重工業のエネルギードメインに属する GTCC 部門で勤務する予定です。

問合せ先  
申込み先



(公財) 福岡よかトピア国際交流財団  
TEL: 092-262-1744 FAX: 092-262-2700  
E-mail: [attaka@fcif.or.jp](mailto:attaka@fcif.or.jp)  
URL: <https://www.fcif.or.jp/event/hometown>

